

いよいよ今年も本格的な活動 開始 (*^_^*)



木津川市にも大きな爪痕を残した台風18号。従来の里山は水源涵養林としての機能を有していましたが、人が関わらなくなった里山は荒廃し、雨水を吸収して水源を保ち、あわせて河川の流量を調節する機能を低下させています。

里山の再生は、都市部における災害を未然に防止する役割も担っているのです。

実際に都市部の災害を防止しているのか、その効果が目に見えて出ることはありませんが、整備された里山の面積は着実に目に見えて広がります。

久々の活動日は11月23日(土)

開催日 平成25年11月23日(土)

時間 午前8時30分 市役所東玄関前駐車場

内容 草刈り、南瓜等の処分

いやあ、秋らしく季節も良くなってきましたので、活動の後には、専属シェフによる芋煮でも囲みましょうか。

美味しい芋煮を戴いてからは、専属シェフからレシピを聞いて、自宅でも芋煮を堪能していただければと思います。メンバーが里芋を山ほど育てていますので、里芋でも掘りに行きますか



平成25年度京都府地域力再生プロジェクト支援交付金 交付決定

今年も、京都府地域力再生プロジェクト支援交付金が交付されることになり、活動資金を30万円確保することができました。

全額補助の交付金は今年度が最終年度となり、来年度からは一部補助にないそうですが、それでも持続的な活動に向けては、ありがたい制度です。

昨年度は、消耗品を始め、チェーンソーやしいたけ菌を購入しました。今年度は、しいたけのホダギ等を搬出するためのリヤカーや草払機の購入も予定しています。



収穫ツアーを開催しました

8月31日、猛暑の最中ですので、作業はせずに南京、南瓜の収穫をするためにメンバーが集結。

活動エリアに行くと、ななななな ナント
先ず、目に飛び込んだのは、イノシシによるものと思われる沼田場。沼田場とは、イノシシやシカなどの動物が、体表に付いているダニなどの寄生虫や汚れを落とすために泥を浴びる場所のことで、休耕田も絶好の場所になります。牡丹鍋、牡丹鍋と期待も少し膨らみましたが、当然のこととして姿は見当たりません。もっとも、姿が見えたとしても、誰が捕るので



だれじゃー泥遊びしたのは (一一:)

しょうか…。

ましてや、誰がめるの。誰がさぼくの。そんな心配をよそに、牡丹鍋・牡丹鍋

次に目に飛び込んだのは、見事に食べられた冬瓜。これは、誰の仕業じゃ……と、言いながら収穫し、次に目に飛び込んだのは、中身を割り貫かれた南京。この手法には見覚えが……ひょっとして、ラスカルちゃんの仕業かあ (一一メ)

とか、わいわい言いながらも結構な量を収穫しました。



ドロボー



ラスカルちゃんの仕業か？



一輪車に乗り切らない冬瓜

公務員は、役所で公共的な仕事をしてはいますが、公共への関わり方はそれだけではないはず。NPO やボランティア、PTA、町内会、どんな活動でもいいから、公務員もアフターファイブや休日には、仕事外の活動に参画し、地域おこしや社会貢献をどんどんやろうじゃないか。こんな想いを持つ全国の国・地方の公務員が、所属や役職を問わず「地域に飛び出す公務員ネットワーク」のもとで活躍しており、キノコモクラブのメンバーも参画しながら活動内容を全国に発信しています。

メンバー募集 キノコモクラブでは常時メンバーを募集しています。

大変な作業も大人数で実施すれば、比較的容易に出来ます。里山からの恵みも享受しながら、持続可能な活動を目指していきたいと考えています。興味のある方は申込書に必要事項を記入の上、木津川市役所観光商工課武田までヨロシク。